

## お知らせ

麻しん(はしか)の発生について		令和7年5月6日 倉敷市保健所保健課
発生場所	倉敷市内	
患者数	1名(幼児女)	
把握年月日	令和7年5月5日	
速報年月日	令和7年5月6日	
内容その他	<p>患者は令和7年4月13日にベトナムから帰国後、5月1日から発熱の症状が出現し、5月4日に発疹の症状が出現したため、5月5日に市内の医療機関を受診。症状から麻しん(臨床診断)の届出があり(5/5)、岡山県環境保健センターで検査を実施したところ、同日、麻しんウイルス陽性であることが判明したため、感染予防や市民への啓発のためプレス発表するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 感染源は国外(ベトナム)からの持ち込みの可能性が高い</li><li>○ 患者は在宅療養中(入院なし)である。</li><li>○ 接触者については現在調査中</li><li>○ 倉敷市では令和7年2月以来の届出</li></ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後14日間(最大21日間)の健康観察が必要です。</li><li>○ 麻しんは感染力が極めて高い感染症で、典型的な症状として、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日続いたあと、39度以上の高熱と発疹が出現します。</li><li>○ 感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防することができません。</li><li>○ 今のところ、感染のおそれがある期間(4月30日以降)に、公共交通機関等、接触者が特定できない施設の利用はありません。</li><li>○ 予防接種が最も有効な予防方法であり、麻しんの定期予防接種は、1歳児、就学前の年長児の2回接種です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。</li></ul>	